第１６号 佐倉三田会だより

佐倉三田会事務局
２０１８年６月発行

会長ご挨拶

佐倉三田会会員、ご家族の皆様には益々、ご健勝の事とお慶び申し上げます。昨年の７月から園田前会長からの体制を引き継ぎ、新旧15 人の役員構成で漸く 1 年が過ぎようとしています。佐倉三田会の規約である会員相互の親睦を計ることを目的として、慶應義塾及び地域の発展に貢献する、という趣旨のもと、幹事一同邁進してまいりますので、会員の皆様のご支援、宜しくお願い致します。

その間、12 月のファミリーパーティー、各愛好会活動（ゴルフ、麻雀、囲碁、カラオケ）サロン、史跡散策会、稲門会との共催講演、近隣三田会との交流等、活発な活動をしてまいりました。特に昨今は近隣三田会との交流が活性化してきて、地域を超えた輪として拡がってきました。

こうした場では偶然の出会いも頻繁にあり、これも慶應義塾で学んだ者としてうれしい限りです。

又、昨年は千葉合同三田会設立 10 周年を迎え、記念事業として奨学金制度の制定も計画しています。

合同三田会会長も設立から 10 年会長を務めた川口さん（千葉三田会名誉会長に就任）から加賀見新会長となり、新たな 11 年目の出発点となりました。

近隣三田会の船橋三田会、八千代三田会が昨年20周年を迎えて記念式典を開催しました。それぞれユニークな企画で大いに盛り上げりを見せ、会の結束を強め、益々の発展を目指しています。佐倉三田会も今年で 18 周年を迎えることが出来ました。

これも会員皆様の協力のお蔭だと思っています。20周年に向けて今年から準備を少しずつ進めたいと考えています。これについても諸先輩のお力をお借りして、記念ある事業にしたいと思っています。

今後の課題は如何に若い方々の加入を勧めるか、という事に尽きるかと思っております。近隣三田会と比べてみますと若い方がたの会員が少ないように見られますので、会員の皆様も、佐倉にお住いの塾員の方にお声をかけて頂き、更なる佐倉三田会の活性化を図っていきたいと思っています。

（S45 経）会長　今井正弘

第 18 回 佐倉三田会総会のご案内

平成29年はトランプ大統領就任後様々な政策転換により世界が振り回された年でした。懸案の北朝鮮問題が米朝首脳会談で改善される事を祈る次第です。

我々佐倉三田会は日頃の活動を通し懇親的な雰囲気で益々発展したいと思っています。

第18回総会も講演会や楽しい懇親会を企画して皆様のご参加を心からお待ち致します。

第 18 回佐倉三田会総会・懇親会

- 日時：平成 30 年７月７日（土）
  16:00 ～ 20:30
- 会場：ウイシュトンホテル　ユーカリ
  京成線ユーカリが丘駅隣接 TEL043-489-6111
- 総会：　16:00～16:40
- 講演会：　16:50～18:00
  講師：高橋郁夫様（慶應義塾大学教授、常任理事）
  演題：「消費者心理とマーケッティング」佐倉で育ち、慶應で学んだ研究者の視点から
- 懇親会：　18:15～20:30
  アトラクション
  落語　慶應義塾大学落語研究会　２名様
  ギター演奏　根岸様
- 参加費：　7,000 円
- 年会費：　3,000 円
  （塾員のみ、ご家族の方は不要）

第１６号 佐倉三田会だより

佐倉三田会事務局
２０１８年６月発行

講演会講師　高橋郁夫氏　プロフィール

1957 年生まれ　1981 年慶應義塾大学商学部卒業
1986 年慶應義塾大学大学院商学研究科博士
1998 年慶應義塾大学商学部教授　慶應義塾志木高等学校校長を勤め現在に至る。
マーケティングや消費者購買行動などを研究、
2000 年慶応義塾賞取得

平成 29 年度佐倉三田会活動報告

✧　第 17 回佐倉三田会総会･講演会･懇親会
　平成 29 年 7 月 1 日（土）16 時から 20 時 30 分迄ウイシュトンホテルにて開催
第一部（総会）
第一号議案　　平成 28 年活動報告
第二号議案　　平成 28 年会計報告及び監査報告
第三号議案　　平成 29 年度役員改選
第四号議案　　平成 29 年度活動計画
第５号議案　　平成 29 年度予算
　第一号議案から第五号議案まで滞りなく承認された。

第二部（講演会）
　講師　小此木雅夫氏（慶応義塾大学名誉教授）
　演題　朝鮮半島情勢の新展開
　北朝鮮関連の著名な研究者として核・ミサイル開発問題を解析、説明してもらい危機的な現実を認識できた。

第三部（懇親会）
　講談師　若林鶴雲氏（塾員）を招き慶應義塾大学応援歌“若き血”の誕生を講談、作曲者が藤山一郎であった事は驚きでした。懇親会は盛大に行えた。
出席人数（来賓者含め総勢 79 名）

✧　第 10 回佐倉三田会ファミリーパーティー
　平成 29 年 12 月 17 日（日）17 時 30 分から 20 時 30 分までウイシュトンホテルにて開催、参加者は会員、ご家族総勢 52 名。
アトラクションとして落語家の桂右女助師匠を招き爆笑を誘い、ウクレレ演奏会で楽しく歓談できた。恒例のオークションでの資金が会の運営に回された。

✧　幹事会開催
　毎月一回開催（7 月、1 月は休会）。
✧　近隣三田会との交流
　近隣三田会の総会出席、各愛好会の交流が更に深まった。
✧　佐倉稲門会との交流
　講演会やゴルフ対抗戦などで懇親を深める事ができた。

✧　各愛好会・サロン・史跡散策会報告

ゴルフ愛好会

　ゴルフ愛好会は、ゴルフを通じ会員の健康と親睦を図ることを目的に 2001 年（平成 13 年）９月に結成、同月に第１回ゴルフ大会を習志野ＣＣにて開催致しました。その後、近隣の八千代･四街道三田会、それに佐倉稲門会との親睦・対抗戦が新たに加わり、友好、親善の輪を広げています。年間行事としては、定例ゴルフ大会、Open Fun Golf 大会、それに近隣三田会との親睦・対抗戦を開催しています。東日本大

第１６号 佐倉三田会だより

佐倉三田会事務局
２０１８年６月発行

震災、2011 年・春の八千代三田会との親睦対抗戦は急遽中止致しましたが、それ以外は予定通りに年間６回の行事を予定し消化しています。
2010 年９月７日（火）には「佐倉三田会創立・10 周年記念」の拡大 Open　Fun　Golf 大会を泉 CC にて開催し、愛好会メンバー、そのご家族、塾員のご友人、総勢 96 名（男性 86 名、女性 10 名）の多数にご参加頂き、お陰で盛大な記念大会を実施、成功裏に終了することが出来ました。これも偏に塾員皆様の強い絆の賜物と感謝している次第です。
現在の愛好会の会員数は約40名となっております。新メンバーのご参加をお待ちしています。
平成 30 年（2018 年）の行事予定は下記の通り。
４月６日（金）　第 15 回八千代親睦対抗戦　　泉 CC　終了　　対戦成績　佐倉３勝９敗
５月 30 日（水）　第 36 定例競技　総武　印旛コース　8：30 分 in・out スタート　６組
７月２日（月）　第 30 回 Open　Fun　佐倉 CC 8:10 分　イン・アウト　各３組スタート
10月５日(金)　第 37 回定例競技　泉ＣＣ　8:15 分　５組予約済み
11 月初旬　　第 ６ 回　佐倉稲門会親睦ゴルフ佐倉 C.C.　予定　今回幹事は佐倉三田会
12月10日　第 31 回　Open Fun その後忘年会佐倉ＣＣ　各４組　及び　忘年会「与作」にて他、四街道、千葉連合三田会等へのゴルフ参加については別途幹事会で検討し参加予定。

定例ゴルフは、全員ハンディキャップの下で順位を競う公式競技とし、Open Fun Golf はダブルペリア方式でのプレーで、プレーを楽しんで頂くことをモットーとした大会です。女性の方々にも是非ご参加頂きたいと思います。奮ってご参加の程お願い致します。
ハンディキャップにつきましては、2013 年３月に従来のハンディキャップを見直し、第 26 回定例ゴルフ大会より定例ゴルフ大会は新ハンディキャップ適用でのプレーとなっております。

平成 30 年度の役員は、会長：下山博（法 35 年）、副会長：橋本政彦（法 41 年）、杉浦爾士郎（商 43 年）、幹事今井正弘（経 45 年）の４名で担当予定です。愛好会に参加ご希望の方は；
橋本政彦：ＴＥＬ＆ＦＡＸ　043-461-6303、Ｅメール　fwijj4695@mb.infoweb.ne.jp
にご遠慮なく連絡願います。
メンバー各位の憩い、交流の場として益々発展出来ますよう一層の努力を致したいと考えておりますので宜しくご支援、ご協力をお願い致します。
（S41 法）副会長　橋本政彦

囲碁愛好会活動報告

現在の会員数は 20 名です。月例会は土曜日の午後に京成佐倉駅隣接の公民館に 15 人程度が集まり囲碁を楽しんでいます。棋力は 14 級から７段までと幅がありますが置き石ハンデによって誰とでも打てます。勿論、棋力の近い好敵手との一戦には特に熱が入ります。その日、星が上がった人にはささやかな賞品が出ます。
月例会の他には年度切り替え時の総会囲碁大会（10 月）、新春囲碁大会（１月）そして５月には生命の森コテージで合宿囲碁大会が開催されます。対外活動としては佐倉稲門会と年２回、親善囲碁大会を行っています。この１年も例年を踏襲した楽しい活動が

第１６号 佐倉三田会だより

佐倉三田会事務局
２０１８年６月発行

できました。しかし会員の中にはご逝去された方もいますし又、実に多くの方が病気や労苦と闘っています。そうした悩みも触れ合える仲間と気楽に碁が楽しめる本サークルは皆の安らぎの場です。
新会員を募集中しています。老後に囲碁を始めてみたい方、大歓迎です。

（S45 工） 有馬広

麻雀愛好会

佐倉三田会公認の愛好会です。現在の会員数は約 40 名です。佐倉三田会会員が主催し、柴田会長(S30 経)を中心として天野副会長(S48 文),柳原幹事長兼会計幹事(S48 工)そして田中事務局幹事(S47 工)の４名が運営しておりますので安心して麻雀が出来ます。近隣の三田会であるハ千代、船橋、四街道からも雀士を募り、月に１回の例会において腕を競っております。中でも最も早く設立され、現在も中心的な役割果たしているのが当方の佐倉三田会麻雀愛好会であります。上位入賞者及び飛び賞で賞品が出ますし、年３回の大会の賞品は北海道、釧路直送の海産物(たらば蟹、毛がに、ホタテ、イクラ)をご用意してあります。

慶應義塾大学において青春時代を過ごされ、学問、スポーツ、音楽などに没頭された活動の一つに麻雀がある方も多いと思います。その麻雀がこれからの皆さまのお役に立つかも知れません。それは、思考力を維持し、指先の運動により認知症の予防に役立つことが近年の研究によりわかってきております。又、会員の中には公認の有段者もおられますのでルールや点数などを安心して聞くことが出来ます。完全先付けですので腕よりも運に左右されますので、誰でも優勝のチャンスがあると同時に、運悪く大負けした場合でも上限打ちきり方式ですので全く安心して麻雀を楽しむことが出来ます。あの青春時代の一コマを思い出してみませんか。

（S47 工）田中英二

カラオケ愛好会

４月１日に当カラオケ愛好会は66回目を迎えます。思えば、佐倉三田会が発足して間もなく、新保さんを中心にカラオケ愛好会を立ち上げ、すでに 10 年以上続いております。ここ数年は、２カ月に１回、偶数月に佐倉市役所の近くのおしゃれな店『シルク』にて、会員が 10 名前後集まり、好きな歌を歌って会員相互間の親睦を図っています。

第１６号 佐倉三田会だより

佐倉三田会事務局
２０１８年6月発行

会員の中には、それぞれ好きな楽器を持ち寄る人もいて、会場内はさながらカラオケというより音楽会の様になります。会員のレパートリーは広く、聴く者を圧倒させてくれます。もはやセミプロの域を超えています。美味しいお酒と料理に舌鼓を打ちながら、会員の迫力ある歌声に耳を傾け、楽しい時を過ごします。全身を使って自分の持ち歌を力一杯歌い、談笑して過ごすうちに、次第に会員同士、先輩後輩の区別もなくなり、4，5 曲歌うとストレスは発散、その有酸素運動量は 400 ㍍を全力疾走したほどになります。あっという間に世界中に爆発的に広がった日本のカラオケ。その効能は、海より深く山より高く、計り知れません。あなたも是非、当会に入会され、その醍醐味を満喫してみませんか？

〔最近の活動記録〕

第 60 回　29 年　4 月　参加者　8 名
第 61 回　29 年　6 月　参加者 11 名
第 62 回　29 年　8 月　参加者　9 名
第 63 回　29 年 10 月　参加者　7 名
第 64 回　29 年 12 月　参加者　6 名
第 65 回　30 年　2 月　参加者 10 名
第 66 回　30 年　4 月　参加者 10 名

（S51 経）松永克樹

史跡散策会

第４回史跡散策会（平成 29 年 11 月 25 日）

【金山城跡と足利学校跡・鑁阿寺（ﾊﾞﾝﾅｼﾞ）を巡る】

前回までは地元佐倉に残る里山と史跡を巡る散策でしたが、今回は少し足を延ばして列車の旅も味わいながら戦国期の関東七名城の一つ「金山城跡」と足利学校跡・鑁阿寺を巡りました。当初 10 月中旬の実施予定でしたが台風の影響で荒天が予想されたため順延しての実施でしたが、この日はまたとない好天に恵まれ最高の散策日和となりました。

参加者：12 名　（反省会参加者は 11 名）

当日の行程：浅草駅 ―(東武特急「りょうもう５号」)→ 太田駅 → 金山城跡ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ施設 →展望台 → 物見台 → 金山城跡(昼食)→ 新田神社 → 金龍寺 → 大光院 → 太田駅 ―(東武鉄道)→ 足利市駅 → 足利学校跡・鑁阿寺 → 足利市駅 ―(東武特急「りょうもう 36 号」)→ 浅草駅 → 【反省会】浅草/ホテル「ニュー魚民荘」

朝８時 20 分に東武浅草駅に集合。ホームにはすでに特急「りょうもう５号」（座席指定）が入線。８時 40 分定時に発車すると、車内のボックス席では話も弾み、持ち込みのアルコールで早速宴会を始める一団も！約 1 時間半後太田駅に到着。駅前から太田市の中央に聳える金山の山頂付近に残る金山城跡を目指して１時間 45 分ほどの散策の始まりだ。途中、金山城跡ガイダンス施設に立ち寄りトイレ休憩。

第１６号 佐倉三田会だより

佐倉三田会事務局
２０１８年６月発行

ここから展望台までは急坂が続き散策どころかちょっとした登山、時間にして 30 分弱だったが高齢者の多い参加者には相当堪えたようだ。展望台からは尾根伝いに物見台に立ち寄り、大手虎口を抜けると城内（城跡）に入る。南曲輪には無人の休憩所もあり、各人思い思いの場所で持参の弁当で昼食。南曲輪からの眺望は抜群で広大な関東平野が眼前に広がり、遠くには秩父山系越しに微かに富士山を望むこともできた。昼食後、本丸跡に建つ新田神社を参拝。金山城は 15C 中頃に新田一族の岩松氏により築城された縁もあり、新田義貞を祀る神社がここに建てられた。因みにこの日参加の園田前会長は岩松氏の流れを組む家系とかで新田郡にはお知り合いが多いとのこと。新田神社への道は紅く紅葉したもみじが天井のように覆いかぶさり、その紅葉の見事さに全員が感嘆していた。新田神社参拝後、ジグザグの勾配を下り途中ガイダンス施設、金龍寺、大光院を経て太田駅へ戻る。太田駅からは各駅停車の電車で３駅戻り足利市駅へ。

駅から 15 分ほど歩き、足利学校跡と鑁阿寺を見学。室町時代から戦国時代にかけて関東における最高学府であった足利学校は建物と庭園が復元されている。その隣に建つ鑁阿寺は足利氏の館跡で真言宗大日派の本山で広い境内にはイチョウやカエデの大木の葉が黄色や紅く染まりそれは見事でした。１時間弱の自由行動で各人足利学校跡と鑁阿寺を自由に散策。参道で味噌麹汁の振舞いに預かったり、特産品を土産に購入したり、鑁阿寺境内の紅葉をカメラに収めたりして瞬く間に時間が経過。再び足利市駅へ戻り、浅草行きの特急「りょうもう 36 号」（16：37 発座席指定）に乗り 18 時前に浅草駅に到着。車内では足利市駅前のコンビニで買い求めたアルコールとつまみで宴会が始まったのは言うまでもありません。浅草駅到着後いったん解散し、ほとんどの参加者は駅前のホテル「ニュー魚民荘」での反省会に！ホテルの個室レストランでの反省会ではコース料理が振舞われ、いつになく格調高い反省会となりました。

（S45 工）萩原隆一

【参加者の感想】

前回、初めて佐倉の寺社を巡る会に参加し、里山の史跡を訪れ興味を持ちました。今回も楽しみに参加させていただきました。　出発の電車の内から和やかな雰囲気に包まれ、紅葉のもと楽しい談笑のうちに散策しました。　太田市の金山城跡は、山全体が堀・石垣・曲輪等で構築され、大規模な中世の山城跡でした。続く新田神社、金龍寺、大光院は、落葉、紅葉が散り敷く、心踊る道々でした。　足利市の足利学校跡で学問の事を思い、鑁阿寺で武士の館の面影を偲びました。　今回は、好天と紅葉の時期に恵まれ大満足の散策会でした。幹事さん有難うございました。

（S45 政）竹渕幸雄

三田会サロン

第 28 回佐倉三田会「ワンコイン・サロン」が 2017 年 11 月 11 日に開催されました。場所は志津公民館、講師は佐倉三田会の永田修氏、演題は「日本の金融に関する諸問題」、仮想通貨ビットコインやバブル期の問題や経験談等を２時間に渡り判りやすく説明して頂きました。

➢90 年代バブル全盛・崩壊期における私の経験談

１）当時の経済・金融情勢、

・プラザ合意→円高不況→バブル全盛崩壊→1994 年以降経済の長期不況

２）銀行系列「ノンバンク」の破たんを契機に行政による「護送船団方式」の崩壊

３）大手金融機関の破たん

４）北海道拓殖銀行破たん時の経験談

５）「金融機能安定化法」、「金融再生法」の制定による銀行の救済

第１６号 佐倉三田会だより

佐倉三田会事務局
２０１８年6月発行

➢金融諸問題の基礎的な事項（解説）

１）通貨増減の仕組み

・通貨の総量・ベースマネー、マネーストック区分

・信用創造・・日銀・市中銀行による信用創造

・複式簿記で見る信用創造（預金通貨の増減）

２）金利体系（主要な金利指標）

・コールレート、ＴＩＢＯＲ（タイボー）、政策金利、短期プライムレート

３）日銀の金融緩和政策（通称：異次元緩和）

・基礎的事項・・・日銀当座預金の役割、準備預金制度、日本銀行券の発行

・日銀金融緩和政策の足取り・・・量的・質的金融緩和の導入、マイナス金利の導入、長短金利操作の導入

・金融政策に伴うよくある誤解

４）ビットコイン（仮想通貨）

・ビットコインの説明、法定通貨とビットコインの相違

・ビットコインをめぐる最近の動き

５）Ｍ＆Ａの仕組み（企業の合併と買収）

・目的・・・既存事業の拡大、シナジー効果実現など

・手法・・・吸収合併、株式買収、株式交換など

・価値評価方法・・・ＤＣＦ法、市場株価法、簿価純資産法など

講演には 30 名以上の方々が参加し、会席料理川京で行われた懇親会にも 20 名参加して旧交を温めました。大学卒業以来、久し振りに聞く硬派な金融論であくびが出るかなと、密かに恐れていましたが、経験談は迫力あり、あくびや居眠りどころでは有りませんでした。

（S36 政）永田修

愛好会･サロン・史跡散策会参加申込先

ゴルフ愛好会　橋本政彦
Tel & Fax：043-461-6303
E-mail：fwi4695@mb.infoweb.ne.jp

囲碁愛好会　有馬 広
Tel & Fax：043-462-4929
Email：arima.carlos@sirius.ocn.ne.jp

麻雀愛好会　田中英二
TEL&FAX：090-2907-1580
Email：eijiandyumiko@docomo.ne.jp

カラオケ愛好会 天野一良
TEL&FAX：043-488-2250
Email：kazu.amano-2002@proof.ocn.ne.jp

史跡散策会　萩原隆一
TEL&FAX：043-461-9154
Email：tkk.hagiwara@orchjd.plala.or.jp

三田会サロン　小林貞三
TEL&FAX：043-461-7330
Email：xiaolin02787@yahoo.co.jp

第１６号 佐倉三田会だより

佐倉三田会事務局
２０１８年６月発行

特 別 寄 稿

≪ベトナム　今、むかし≫

ベトナムという国について皆さんどの程度の知識、関心がおありでしょうか。　アメリカと中国の代理戦争の地として、米国が使った枯葉剤によるシャム双生児が生まれ、米国を戦争で負かした唯一の国、、、現在では経済が発展し、メコン川の傍らにある魚市場、渡し舟から降りてくる自転車とバイクの大群、色とりどりの品物があふれる市場、女性の美しいアオザイ姿、くらいでしょうか。

今でもあまりなじみのない国、ベトナムについて一般的な認識とは別の観点から四分の一世紀以上前のベトナム、そして短い滞在期間ながらその中で得た現状について述べてみたいと思います。

４月１９日からの出張先であるホーチミン市（旧称サイゴン）のホテルでこの一文をしたためています。当たりまえのことながらおよそ３５年前の最初の訪問時との変わり様はシンガポールとは比べられないまでも大きな変化がそこにありました。（当時は市の名前も高級官僚も含め正式には既に公式名となっていたホーチミンではなくサイゴンと呼んでいました。やはりサイゴンの方が耳に快いですね。）

一時はアセアンの後はインドシナ半島といわれながら、1997 年の金融危機で、発展のベクトルはアセアンから中国へと移動しました。しかしながら中国への傾倒が一段落した今、再びカンボジア、ラオスを含めたインドネシア半島に注目が集まり、中でもベトナムはここ十数年外資の積極的な導入で大きな発展を遂げていることはご存知のとおりです。

外資系企業は輸出総額の７割を担う経済の屋台骨となっています。　因みに日本は連続して２０年、政府経済援助（ODA）供与国であり、対ベトナム援助の４割を占めていることはあまり世に知られていない事実です。

1976 年の南北統一、1986 年のドイモイ政策〔社会主義路線の見直し、市場経済制度への転換、国際社会への門戸開放等を骨子とする刷新政策〕を経て、また「チャイナプラスワン（製造拠点を中国に集中するリスクを避け分散投資をする戦略）」として注目を集めてきたことがこの国の発展に繋がっているのだと思います。しかしながら発展途上国の常としてまだまだ問題含みであることは事実として念頭に置く必要性は論を待たない現状です。

共産主義国家であり民営化を強力に進めているものの、国営企業の存在はまだまだ大きく、その国営企業の改革、すなわち IPO(株式公開)、株式会社化、外資との戦略提携も進展しているものの見込みどおりではない悩みは散見されます。しかし政治は別として経済分野では速度は遅いものの確実に進んでいることは間違いありません。

私の属する M&A の仲介企業でも、最近養豚企業が米国企業に、魚の飼料企業が欧州の企業へと、売却を手助けした実績がありますし、交通インフラの効率化を求めて外資企業からの投資を求めている案件も進んでいます。時間とコストの節約という観点から、企業の買収、提携は、外資主導による経営の効率化、資本の増強を求めて盛んに進んでいます。

３５年前の初訪問を思い起こしてみました。　信じられないような状況が思い出されます。

1970 年代の中国でも同じで、紺の人民服を着た男女の官僚に手厚く出迎えられたことなどが今でも印象に残っています。ドイモイ政策を決定する直前の、国の発展を強烈に願い、海外の製品、技術を積極的に受け入れようとの官民挙げての思いが示されていたのだと今になって思い至ります。

第１６号 佐倉三田会だより

佐倉三田会事務局
２０１８年6月発行

飛行機のタラップ下には赤い絨毯が敷き詰められ、少女からの花束で迎えられ、通関はほぼフリーパス、市庁舎訪問時には階段に赤い絨毯が敷き詰められ、ホーチミン市長自らの玄関先での出迎え、今では考えられないことがあったのです。
我々の通訳は流暢な英語を話す女性、応対してくれた経済企画庁長官で共産党の幹部はドイツ語が堪能、アメリカと西ドイツで教育を受けた人たちでしたが、長いベトナム戦争の結果として、本来であれば敵国で教育を受けた人々おも要職に就けざるを得ないほどその当時は人材にも枯渇していたのだと思います。
街中の風景はせいぜい３－４階建てのビル、街行く人々はランニングに半ズボン、ゴムぞうり、でも人々はいたって温厚、中国の田舎町の人々の面影でした。もっともベトナムの人々は中国南部から遠い昔に移住してきた人々が多くいたのです。道路は勿論舗装なし、デコボコ道で、自転車がやたら多く、1970 年代の北京を小型にしたような様相でした。
現在の街中の様子はどうでしょう。　ほとんど舗装化された道路という道路はバイクの大群によって占められ、その交通ルールは無きが如しで、日本人にはとても運転できそうもありません。バイクの人々は皆な大きなマスクをしています。発展途上国の常として大気汚染は半端ではないものと思われます。
そんな中でもホーチミン市内はいたるところでクレーンが立ち並び発展の勢いが感じられます。目抜き通りには欧米のブランド店が多く見受けられ、経済的にはやはり注目を続けていくべき国なのでしょう。
話が固くなりました。少々やわらかい話に戻りましょう。　ウオシュッレトの話です。
皆さんはウオシュレットの世界の普及率をご存知ですか？　ベトナムではかなり高級なホテルでも勿論設備されていません。今回も不自由しました。
ウオシュレットの普及率は、日本がダントツで世界一です。　一般世帯＝80%、１００世帯あたりの保有台数は１００台超、すなわち一世帯あたり２台以上保有している家もあるということです。ホテル、スーパーマーケット等の公共機関でも今では当たり前ですね。前述のようにベトナムに限らず海外ではほとんど普及していません。　理由はなへんにあるのでしょう？
１．硬水ゆえの水つまり　２．水道は不純物多く不衛生　３．トイレ・風呂一体のユニットバスが多く、コンセントが近くにない（英国ではバスにコンセントをつけること禁止）ということだそうでなるほどとうなずけます。我々はなんと素晴らしい国に住んでいることでしょう、勿論、政治をはじめとして種々の不満はありますが。
私見ながら、毀誉褒貶、いろいろですが、やはり共産主義より資本主義でしょうか。

（S40 商）　園田紀之

第１６号 佐倉三田会だより

佐倉三田会事務局
２０１８年６月発行

佐倉三田会	平成29年度会計報告			第2号議案
	（29年4月1日～30年3月31日）			
収入の部				単位：円
項　目	予算	決算	備　考	
前年度繰越金	486,184	486,184		前年度比131,996増
年会費	300,000	276,000	3,000×92名＝276,000	前年度比4名減
総会懇親会費	500,000	568,000	祝い金含む　参加64名+来賓14名	
ﾌｧﾐﾘｰﾊﾟｰﾃｨ会費	350,000	333,000	参加51名	
雑収入	60,000	180,004	連合三田会大会券販売　40,000　利息4	
			寄付金　140,000	
			（カラオケ7,000円、写真55,000、提供品販売46,000ほか）	
収入計	1,696,184	1,843,188		
支出の部				
項　目	予算	決算	備　考	
総会懇親会費	460,000	526,722	ｳｨｼｭﾄﾝﾎﾃﾙ宴会費　447,000　来賓手土産　24,472	
ﾌｧﾐﾘｰﾊﾟｰﾃｨｰ宴会費	350,000	366,300	ｳｨｼｭﾄﾝﾎﾃﾙ宴会費　308,924　日本酒持ち込み7,376	
			落語50,000	
渉外費	215,000	245,000	千葉県合同三田会　45,000　九十九里三田会10,000	
			千葉・市川・船橋・四街道・八千代・浦安三田会 各20,000	
			佐倉稲門会　20,000　連合三田会大会券購入　50,000	
会議費	19,000	15,558	幹事会　4/23・5/28・6/18・7/30・9/24・10/29・11/26・	
			1/28・2/25・3/25	
事務費・通信費	60,000	28,228	徽章バラ2,631	
			印刷代等 24,188	
その他　予備費	106,000	111,436	総会謝礼　50,000　高橋さんへのお礼9,188	
			早慶合同講演会15,000（稲門会主催）	
			早慶合同講演会29,500（三田会主催）　その他	
（　小　計　）	1,210,000	1,293,244		
次年度繰越金	486,184	549,944		
支出計	1,696,184	1,843,188		

本年度の会計収支について、関係帳簿ならびに関係書類を詳細かつ慎重に監査したところ、いずれも適正かつ正確に処理されていることを確認しましたのでご報告いたします。

平成30年4月30日　　監査　岩渕　明弘